

デヴィッド・ゴードン・トリオ待望の第5作目！
テーマはラテン・ミュージック！

デヴィッド・ゴードン・トリオ スピークス・ラテン



Photo, Nimbus

DGT 005 日本語書き下ろし解説付き(小川 隆夫)

**1000枚完全限定プレス盤！
日本語書き下ろし解説付き！**

01. Quizás, Quizás, Quizás キサス・キサス・キサス
02. La Chipola ラ・チポーラ
03. Angelita Huenumán アンヘリータ・ウエスマン
04. Duermes Negroito おやすみネグリート
05. Sambova サンボヴァ
06. Waltz for Bebel ワルツ・フォー・ベベウ
07. Baião Malandro マランドロのバイオン
08. Chorinho ショリーニョ
09. Piel Canela ビエル・カナラ
10. La Puñalada ラ・プニャラダ
11. Bajo un sauce Llorón しだれ柳の下
12. Deixa デイシャ
13. Tonada de la luna Llena 満月のトナーダ
14. Tico Tico no Fubá チコ・チコ・ノ・フバー

デヴィッド・ゴードン(p)
ジョンティ・フィッシャー(b)
ポール・カヴァキューティ(ds)

イギリス生まれのデヴィッド・ゴードンはジャズ・ピアニストとしてこれまでに何枚かのアルバムを発表してきたが、一方でハーブシコード奏者としてもキャリアを重ねている。(中略)1997年に古楽系のレコード会社として知られるギルドが設立したジャズのニュー・レーベル、ZAH ZAHでレコーディングされたのが1作目の『Dozen A Day』だった。その後はこのレーベルで『Undiminished』、『Angel Feet』、『Second Language』を吹き込み、それに続くのがNimbusに移籍して発表した本作である。今回はテーマがラテン・ミュージック。今年(2014年)はブラジルでサッカーのワールド・カップが、そして2016年にはリオ・デ・ジャネイロで夏季オリンピックが開催される。それもあって、ラテン音楽にもこれまで以上の注目が集まるのではないだろうか。そんなタイミングでこのアルバムが登場したこともファンにとっては嬉しい限りである。そして嬉しいといえばもうひとつ、この作品は海外ではCD-R仕様で発売されているが、この盤は特にプレスCDに変更されている。これも見逃せないポイントだ。日本語書き下ろし解説より (c)WINGS 14032916:小川隆夫 / TAKAO OGAWA

溢れる想像力と感動的なフレーズ
がとまらない！妥協なき精神がジャズ・シーンへ新風を巻き起こす！

繊細で爽やかなタッチと大胆で躍動
感溢れるプレイ。クリエイティヴな
グループ・サウンドが炸裂。

美しくリリカル。デビュー作『ダズ
ン・ア・デイ』に続くセカンド・アル
バム。

抒情派ピアノ・トリオの隠れた超名
盤。衝撃のゴードンのトリオ・デビ
ュー盤！



セカンド・ランゲージ

デヴィッド・ゴードン(p)
オレ・ラスムッセン(b)
ポール・カヴァキューティ(ds)
Zah Zah ZZCD 9827



エンジェル・フィート

デヴィッド・ゴードン(p)
オレ・ラスムッセン(b)
ポール・カヴァキューティ(ds)
Zah Zah ZZCD 9819



アンディミニッシュド

デヴィッド・ゴードン(p)
オレ・ラスムッセン(b)
ポール・カヴァキューティ(ds)
Zah Zah ZZCD 9817



ダズン・ア・デイ

デヴィッド・ゴードン(p)
オレ・ラスムッセン(b)
ポール・カヴァキューティ(ds)
Zah Zah ZZCD 9801